



工事タイムス

昭和八年十月

地方土木部課長異動

九月二十二日官報を以て告示された新潟外五縣の土木部新設に伴ふ地方技術官の異動は次の如く同日付を以て發令された。

(東京府土木課長)地方技師 來島良亮
任内務技師(三等)仙臺土木出張所勤務を命ず

(大阪、道路技師兼土木技師)和田重辰
任内務技師(三等)關土木出張所勤務を命ず

(東京、同)金子源一郎
任地方技師(三等)補東京府土木部長

(鹿兒島、土木課長)地方技師 中川幸太郎
補京都府土木部長

(新潟、同)同 川上國三郎
補新潟縣土木部長

(栃木、同)同 川越篤
補愛知縣土木部長

(静岡、同)同 木村憲七郎
補静岡縣土木部長

(長野、同)同 兒玉靜雄
補長野縣土木部長

(宮城、同)同 伊藤毅
補宮城縣土木部長

(仙臺)内務技師 山口十一郎
任地方技師(三等)補廣島縣土木部長

(福岡、土木課長)地方技師 坂本一平
補福岡縣土木部長

(群馬、土木課長)同 中村孫一
長崎縣勤務(土木課長)を命ず

東京(同) 藤田周造
埼玉縣勤務(土木課長)を命ず

(和歌山、土木課長)同 平川保一
群馬縣勤務(土木課長)を命ず

(香川、同)同 横山喬
茨城縣勤務(土木課長)を命ず

(富山、同)同 春藤眞三
栃木縣勤務(土木課長)を命ず

(神奈川、同)同 村瀬吉雄
奈良縣勤務(土木課長)を命ず

(茨城土木課長)同 荒木榮二
富山縣勤務(土木課長)を命ず

(静岡)同 三宅發造
鳥取縣勤務(土木課長)を命ず

(京都、道路技師兼土木技師)北原嶸
島根縣勤務(土木課長)を命ず

(奈良土木課長)地方技師 上田柳一
和歌山縣勤務(土木課長)を命ず

(廣島、同)同 後藤季總
香川縣勤務(土木課長)を命ず

(高知、同)同 河合清
愛媛縣勤務(土木課長)を命ず

(鳥取、同)同 岸田正一
高知縣勤務(土木課長)を命ず

(兵庫、土木技師兼道路技師)城戸鎖吉



任地方技師(三等)宮崎縣勤務(土木課長)を命ず
 (島根、土木課長)地方技師 竹内常八
 鹿兒島縣勤務(土木課長)を命ず
 (愛媛、同)同 青木治助
 靜岡縣勤務を命ず
 (京都府土木部長)同 村山喜一郎
 (愛知縣同)同 宮島三郎
 (長崎土木課長)同 楠宗道
 (埼玉同)同 田中三郎
 (宮崎同)同 山田一
 依頼免本官(各通)

東京市の街路樹

東京市の街路樹は特に大震災後都市緑化の一般的
 要求と都市の風致、衛生状態の向上を圖る上に絶對
 的必要な施設として多額の経費が投ぜられたが東京
 市保健局発表による現在街路樹の概数は左の通り總
 數32,236本で街路樹植栽路線延長は 64,350間となつ
 て居る即ち

篠懸木(2,921本) 公孫樹(8,361本)トクナシニモア
 カシヤ(2,007本)梧桐(1,746本)三角楓(1,685本)櫻(1,
 456本)ニモアカシヤ(1,323本)柳(1,032本)百合木(78
 7本)七葉樹(456本)楨(307本)松(297本)槐(260本)樺
 (213本)檉槐(205本)ホヱラ(148本)其他(32本)

五十萬圓で河川淨化

東京市の中央を流れる隅田川を初め江戸川、其他
 市内縦横に走る河川運河は甚だしく混濁して市民の
 保健衛生上看過し得ないので、今回内務省と市とが

山口貯水池の秋 九月十七日撮影

協力して河川の淨化を計ることゝなつた、即ち豫算
 五十餘萬圓を以て隅田川上流赤羽附近(荒川の中流)
 へ一大可動堰を築造して、荒川の清水を流出すると
 共に各河川の浚渫を行ひ、更に六十萬圓を以て護岸
 を修築する等従來の不潔な河底を清淨にし河川の堤
 防は市民の散歩道路に適するよう改修或は街路樹を
 植込む等公園的諸施設を施し市街地美化の一助とな
 すことゝなつた、尙本豫算は來年度に計上すべく準
 備を進める筈である。

名古屋驛改築愈々具體化

名鐵局改良工事中名古屋驛並に名鐵局廳舎の改築
 は豫算の關係で實現にいたらなかつたが、いよいよ
 明年度には工事にとりかゝる見込がつくにいたつ
 た、場所は現在の名古屋驛の西方約二丁、高架線下
 を待合室にし高架線外に驛本屋が出現する譯であ
 る、驛本屋は地下一階地上五階二階以上が名鐵局事
 務室、間口260米、奥行50米、延坪驛本屋 12,000平方
 米 高架下8,000メートル、名鐵局25,000平方メートル
 で總工費は500萬圓、竣工は二ヶ年の豫定である。